

平成 28 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち													
施策No.	18	施策名	下水道の整備													
主管課名	下水道課															
関係課名																
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道が整備され、市民が衛生的な生活環境の中で暮らしています。</li> <li>・独立採算制の原則を基本に、健全な下水道経営が行われています。</li> </ul>															
施策の成果向上 に向けての住民 と行政との役割 分担や地域等へ の期待など	市 ・ 民 ・ 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・油や異物を流さないなど水質の浄化への意識を高めます。</li> <li>・下水道整備の目的を理解し、下水道への接続に積極的に取り組みます。</li> </ul>														
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未整備地区の汚水管路の整備など、下水道事業を推進します。</li> <li>・独立採算制の原則を基本に、既整備地区における下水道への接続を促進するなど下水道事業収入の確保と健全経営を目指します。</li> </ul>														
	そ の 他 ( 地 域 )															
市民意識 調査結果	<施策実感度調査結果> ※26年度までは「満足度」 <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.521</td> <td>0.508</td> <td>0.375</td> <td>0.815</td> <td>0.962</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.521	0.508	0.375	0.815	0.962	
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度											
0.521	0.508	0.375	0.815	0.962												
<施策重要度調査結果> <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.734</td> <td>0.766</td> <td>0.635</td> <td>0.658</td> <td>0.702</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.734	0.766	0.635	0.658	0.702		
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度												
0.734	0.766	0.635	0.658	0.702												
施策の トータルコスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績								
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	22 (22)	19 (19)	23 (23)	23 (23)	24 (24)								
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	9 (9)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)								
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	13 (13)	14 (14)	18 (18)	18 (18)	19 (19)								
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—													
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—													
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	2,939,485	1,150,955	2,898,860	2,690,588	2,987,290								
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	1,318,901	850,512	886,804	657,037	916,894								
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	1,620,584	300,443	2,012,056	2,033,551	2,070,396								
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—													
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—													
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	51	53	62	62	63								
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	17,300	15,900	17,600	17,600	17,600								
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	76,103	66,685	77,123	73,586	72,354									
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	3,015,588	1,217,640	2,975,983	2,764,174	3,059,644									
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	66,332	26,137	66,556	62,351	69,950								
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	1,717	1,514	1,771	1,705	1,694								
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	68,049	27,651	68,327	64,057	71,644								
参 考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111								
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706								

基本事業概要シート①

施策No.	18	施策名	下水道の整備
基本事業名①	下水道施設の整備		
基本事業①の目的(意図)	一般家庭や事業所等から排出される汚水の処理に必要な下水道整備等により、衛生的な生活環境を守り、河川などの公共用水域の環境負荷の軽減を図ります。		
平成28年度における主な事業内容(活動内容)	<p>【公共下水道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道計画区域のうち、経田地区・大光寺地区等の污水管路整備(整備面積1ha)を行いました。</li> <li>・魚津市浄化センター長寿命化計画による再構築事業のうち、平成27年度から実施していた汚泥処理機械・電気設備の更新工事が完成しました。また、沈砂池棟の耐震化を含む再構築工事の実施設計を行いました。さらに、港町中継ポンプ場の耐震化工事を実施しました。</li> </ul> <p>【特定環境保全公共下水道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道計画区域のうち、江口地区、吉島地区、立石地区、大海寺野地区等の污水管路整備(整備面積13ha)を行いました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
下水道整備率	%	85.3	91.7	92.2	92.8 92.9	93.4	93.9	94.5	95.0

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	浄化槽設置整備助成事業	992,000	940,000	52,000	-	下水道課
2	下水道事業特別会計	○ 鴨川放水路下水道移設事業	48,500,000	37,231,360	11,268,640	A	下水道課
3	農業集落排水事業特別会計	○ 農業集落排水事業	10,100,000	8,674,560	1,425,440	A	下水道課
4	下水道事業特別会計	◎ 公共下水道事業	513,832,000	474,880,079	38,951,921	A	下水道課
5	下水道事業特別会計	◎ 特定環境保全公共下水道事業	407,436,000	395,168,077	12,267,923	A	下水道課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			980,860,000	916,894,076	63,965,924		

基本事業概要シート②

施策No.	18	施策名	下水道の整備
基本事業名②	安定した下水道事業経営		
基本事業②の目的(意図)	維持管理の徹底した効率的合理化を推進するとともに、経営状況を明らかにし使用料水準を適正化し、下水道経営の安定を図ります。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【水洗化促進事業】 ・未接続者への戸別訪問やPR活動を強化し、水洗化率の向上に努めました。</p> <p>【下水道受益者負担・分担金事務】 ・下水道整備を行った受益地区の土地所有者等に対し、未整備地域との負担の均衡を図るため、事業費の一部を負担してもらう受益者負(分)担金の請求及び徴収を行いました。</p> <p>【下水道使用料事務、農村下水道使用料事務】 ・下水道事業における使用料対象経費となる維持管理費や資本費を賄うため、下水道使用者から適正な使用料金の請求及び徴収を行いました。</p> <p>【公共下水道維持管理事業、公共下水道管渠維持管理事業、農村下水道維持管理事業】 ・各浄化センターや汚水管渠の点検や整備を行い、適正な維持管理に努めました。</p> <p>【地方公営企業法適用事務】 ・プロポーザルで選定した業者と委託契約を結び、下水道事業の工事に関する書類や決算書等を調査するなど、資産の整理に着手しました。</p>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
経費回収率	%	73.0	71.9	79.3	79.0 79.7	82.5	86.0	89.6	93.1
水洗化率	%	82.1	83.1	84.5	84.7 85.3	85.6	86.4	87.2	88.0

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	浄化槽汚泥処理事業	9,306,000	9,217,495	88,505	-	下水道課
2	予算なし	◎ 水洗化促進事業	0	0	0	A	下水道課
3	予算なし	下水道排水設備指定工事店認定事業	0	0	0	-	下水道課
4	予算なし	下水道責任技術者試験委員事業	0	0	0	-	下水道課
5	予算なし	下水道接続事業	0	0	0	-	下水道課
6	予算なし	地方公営企業決算状況調査事務	0	0	0	-	下水道課
7	下水道事業特別会計	◎ 下水道受益者負担・分担金事務	628,000	580,701	47,299	A	下水道課
8	下水道事業特別会計	◎ 下水道使用料事務	13,744,000	13,743,237	763	A	下水道課
9	下水道事業特別会計	とみ里団地浄化槽維持管理事業	2,858,000	2,635,222	222,778	-	下水道課
10	下水道事業特別会計	水洗化資金利子補給事業	10,000	0	10,000	-	下水道課
11	下水道事業特別会計	○ 公共下水道維持管理事業	231,675,000	228,705,827	2,969,173	A	下水道課
12	下水道事業特別会計	公共下水道管渠維持管理事業	11,080,000	8,715,991	2,364,009	-	下水道課
13	下水道事業特別会計	○ 下水道事業地方公営企業法適用事務	14,600,000	14,536,800	63,200	A	下水道課
14	下水道事業特別会計	元金	1,170,229,000	1,170,228,004	996	-	下水道課
15	下水道事業特別会計	利子	256,757,000	256,618,086	138,914	-	下水道課
16	農業集落排水事業特別会計	農村下水道使用料事務	2,239,000	2,238,624	376	-	下水道課
17	農業集落排水事業特別会計	農村下水道維持管理事業	57,634,000	50,181,586	7,452,414	-	下水道課
18	農業集落排水事業特別会計	元金	228,888,000	228,887,968	32	-	下水道課
19	農業集落排水事業特別会計	利子	84,977,000	84,106,945	870,055	-	下水道課
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			2,084,625,000	2,070,396,486	14,228,514		

施策評価結果シート

施策No.	18	施策名	下水道の整備
-------	----	-----	--------

平成28年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)

<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p> <p>【①下水道施設の整備】 ◆魚津市の下水道整備率は、平成22年度は85.3%でしたが、平成28年度末には92.9%となり、着実に整備が進んでいます。 ◆魚津市の公共下水道の整備率は、平成27年度末で74.4%です。県内10市で比較すると中位(5位)水準になっています。</p> <p>【②安定した下水道事業経営】 ◆魚津市の経費回収率は、公共下水道では、平成22年度は73.0%でしたが、平成28年度末には79.7%でした。 ◆魚津市の水洗化率は、平成22年度は82.1%でしたが、平成28年度末には85.3%となり、緩やかに水洗化が進んでいます。 ◆魚津市の公共下水道の経費回収率は、平成27年度末で79.3%です。県内10市で比較すると中位(4位)水準になっています。 ◆魚津市の公共下水道の水洗化率は、平成27年度末で84.5%です。県内10市で比較すると低い(8位)水準になっています。</p>
<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成28年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)</p> <p>【①下水道施設の整備】 ＜公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業＞ ◆魚津市公共下水道計画に基づき下水道整備(管渠工事)を進め、未整備区域の解消に努めました。 ◆魚津市浄化センター長寿命化計画、港町中継ポンプ場長寿命化計画に基づいて、施設の再構築工事に向けた調査、実施設計、工事を行いました。</p> <p>【②安定した下水道事業経営】 ＜下水道使用料事務、農村下水道使用料事務＞ ◆下水道及び農村下水道使用料については、平成28年4月使用分から料金改定(平均単価10%増)を行い、経費回収率向上に努めました。 ＜水洗化促進事業＞ ◆平成22年度から始めた水洗化率向上の取組みとして、下水道未接続世帯に対し、戸別訪問により下水道接続の勧奨を継続して実施しました。</p>
<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p> <p>【①下水道施設の整備】 ◆下水道整備については、第1期から第5期区域までは概ね整備を終えています。引き続き、第6期区域について計画的に整備を進めます。 ◆魚津市公共下水道長寿命化計画に基づき、魚津市浄化センターの設備の更新や建物の耐震化工事を進めます。また港町中継ポンプ場については、耐震化工事を進めます。</p> <p>【②安定した下水道事業経営】 ◆水洗化率について、県内では低い水準にあることから、下水道未接続世帯の解消に向けて、戸別訪問エリアの拡大など水洗化率向上の施策を検討し、下水道への接続勧奨を行います。 ◆下水道管渠に浸入する不明水対策として、流量等の基本情報を整理し実態把握に努め、マンホールの修繕等、不明水浸入防止に向け継続的に取り組みます。 ◆下水道事業の経営状況を明らかにし、安定した経営を図るために、平成31年度から企業会計の導入を予定しています。今後は、資産整理を完了させ、勘定科目の選定や条例の改正等を行い、事業を進めます。 ◆受益者負(分)担金については、新たに整備する地区で地元説明会を開催し事業制度の周知を図るなど、賦課、徴収を適切に行います。また、受益者負(分)担金の未納者に対しては、夜間徴収するなど徴収率向上に努めます。</p>

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆下水道の整備(未普及対策)及び浄化センター等施設の整備を計画的に進めること。</li> <li>◆使用料、負・分担金の徴収率向上、水洗化率の向上に努め、安定した下水道経営を目指すこと。</li> <li>◆経営状況を明らかにするため、企業会計導入に向けて公営企業法適用事業を推進すること。</li> </ul>
<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆下水道の整備及び浄化センター等の施設整備を計画的に進めます。</li> <li>◆使用料、負担金・分担金の徴収率向上、水洗化率の向上を図り、安定した下水道経営を行います。</li> <li>◆企業会計導入に向けた取組みを推進します。</li> </ul>